

平成26年度教育研究活動報告書

氏名	灰谷謙二	所属	芸術文化学部日本文学科
学位	修士（文学）	職位	教授
専門分野	日本語学（現代語）		
Ⅰ 教育活動			
本年度担当科目			
学部	日本語学概論、 日本語学講義Ⅱ、 日本語学講義Ⅳ、 現代語学専門演習 a 現代語学専門演習 b タイポグラフィー 卒業論文（構想・準備） 卒業論文（制作）		
大学院	日本語学特講、 日本語学演習 日本文学・言語文化総論 研究指導（論文指導）		
Ⅱ 研究活動			
これまでの主な研究業績（5件まで）			
（1）〈著書〉『瀬戸内海事典』 H19南々社（共著）			
（2）〈著書〉日本のことばシリーズ32 島根県のことば H20明治書院（共著）			
（3）〈著書〉『出雲弁検定教科書』 H20 ワンライン（共著）			
（4）〈論文〉「田畑からの帰り道でのあいさつ」にみられる表現発想と都市化『柳田方言学の現代的意義』ひつじ書房（H26/6月刊行予定）			
（5）〈論文集〉『西日本海域方言における”海上ネットワーク”検証のための記述的・理論的研究』平成21～23年度科研費基盤研究（C）一般 研究代表者			
本年度を含む過去3年間の研究業績			
（1）〈論文〉「田畑からの帰り道でのあいさつ」にみられる表現発想と都市化『柳田方言学の現代的意義 あいさつ表現と方言形成論』ひつじ書房（H26/7）			
（2）〈論文〉小津安二郎『東京物語』における尾道方言使用の意味 『尾道市立大学芸術文化学部紀要』第12号 2013			
（3）〈論文〉隠岐島二地点方言の風位語彙と漁場特定語彙—中村と西郷にみられる地理的環境の比較から—『西日本海域方言における”海上ネットワーク”検証のための記述的・理論的研究』平成21～23年度科研費基盤研究（C）一般 研究成果報告書			
（4）〈論文〉漁場の地理的環境と漁場特定語彙『尾道大学日本文学論叢』第7号2011			
（5）〈論文〉長崎県対馬市美津島町方言の漁場特定語彙—ヤマアテにみられる開放系漁場の特徴—『尾道大学芸術文化学部紀要』第10号2011			
現在の研究テーマ（3つまで）			
（1）中国地方方言における伝播の整流と偏流 H25～27科研費基盤C一般 採択			
（2）国立国語研究所共同研究プロジェクト「方言の形成過程解明のための全国方言調査」参画			
（3）日本方言におけるあいさつ表現の成立と伝播			
研究テーマの進捗状況	（1）に関しては最終年度を迎え、総括と報告書作成の作業中（2）は共同研究者として広島県下の分担調査を担当（3）は東北大学小林隆氏主宰のプロジェクト内で研究分担者として論文執筆済み。		
学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績）			
所属学会・所属団体 役職等			
日本語学会、日本音声学会、広島大学国語国文学会、			